

「自他共に大切にし、学ぶ意欲を育てる東蒲中」

～生徒一人一人が輝く東蒲中～

1 教育目標

- ・健 健全な心と体を育てよう。
- ・根 根気よく学び続ける力をつけよう。
- ・信 信頼に基づいた豊かな人間性を育てよう。

2 学校経営の重点

- (1) 人権尊重の精神に基づき一人一人の生徒・教職員が居場所のある学校を作る。そのために、自他共に大切にし、いじめや暴力のない環境づくりをする。学ぶ意欲を持ち続けることを目指す。生徒も大人も学校へ来るのが楽しみな環境づくりをする。
- (2) 生徒の規範意識と自尊感情を高めるとともに、いかなる差別・偏見も許さない気高い人間愛を育成する。
- (3) 小中一貫教育を推進し、生徒の学ぶ意欲と豊かな心を、9年間を通して育成する。
- (4) 地域学校協働本部を通して、保護者・地域と連携し、地域人材を活用して多くの学びの体験を準備する。その体験を通して生徒の学習・生活への向上心を高めるとともに、将来の生き方を見いだせる学校を目指す。
- (5) 多様な形態で避難訓練を実施し、地震、津波、台風、自然災害等に対する生徒の防災意識を高め、生命と生活を守る教育を推進する。
- (6) 教職員がそれぞれの役割を確実に果たし、組織的に教育課題に取り組み、指導方法の工夫・改善を行い、区民の信託に応える。
- (7) 働き方改革を推進し、指導の重点を図る。

3 目指す学校像

～安全・安心・安定した、皆から愛される学校～

(1) 安全

- ①暴力や盗難などがない安全な学校【自他の生命の尊重】
- ②災害への対策が備わっている学校【防災教育の充実】

(2) 安心

- ①いじめや嫌がらせのない温かな人間環境にある学校【人権尊重】
- ②自分の存在が認められ心の居場所がある学校【よりよい人間関係】
- ③わかる喜び、学ぶ楽しさがあり、学力の定着、個性の伸長が図られる学校【学習の保障】

(3) 安定

- ①落ち着いた環境で、授業や学校生活ができる安定した学校【不易な教育活動】
- ②長期的な展望を持ち、一貫性のある教育を展開する学校【組織的学校運営】

4 目指す教師像

～教育者として人間力の高い組織的な教職員集団～

(1) 教育者として（心）

- ①豊かな人間性 ②所作・接遇 ③生徒理解・保護者理解・地域理解

(2) 教育の専門家として（技）

- ①授業改善 ②向上心 ③自己研鑽

(3) 情熱と活力（体）

- ①健やかな身体 ②組織力（報・連・相・確）

5 目指す生徒像

～心豊かな活力に満ちた生徒～

(1) 自ら学び、自ら考え、自ら正しく判断して行動できる生徒

【自己指導能力（主体性）の育成】

(2) 優しく、思いやりを持ち、互いを認め合える生徒

【自己肯定感・自尊感情の醸成】

(3) きまりや規律を重んじ、社会生活に適応できる生徒

【自立の精神】

6 学校経営方針の具現化

- (1) 学区域内の2校の小学校と小中一貫教育を推進し、授業改善を図り、生徒の学ぶ意欲と豊かな心を育成する。また、外部講師を活用した校内研修を充実させ、教員の指導力向上を図る。
- (2) 多様な補習を準備し、生徒の補充学習を充実させる。また、検定試験（英検・漢検・数検）を推進し、目標に向かって自ら学ぶ意欲を身に付ける。
- (3) 日常の生活指導、体験活動、ボランティア活動、道德教育を通して、豊かな人間性を育成する。
- (4) 基本的な生活習慣の確立と体力向上に努め、進んで健康増進に励む態度を育成する。
- (5) 生徒の自治活動の推進を図り、自ら「学習環境づくり」と「仲間づくり」について考え、校内生活の向上に取り組む意識を高める。
- (6) いじめを無くし、共に生きることの大切さや思いやりの心を育てるため、「いじめ撲滅宣言」を推進し、人権意識を高める。いじめを早期発見するためにアンケート調査を6月、11月、2月の3回実施し4年間保存する。
- (7) 地域学校協働本部を通して、地域・関係諸機関等と連携した地域のネットワーク作りを行い、生徒の学力向上（資格の取れる環境整備）、健全育成や防災活動ボランティアを推進する。
- (8) 地域・保護者に本校の教育活動の説明責任を果たすべく、授業参観・行事などを通して学校公開を進めるとともに、地域・保護者・生徒の評価を積極的に受け入れ、学校改善を図る。
- (9) 道德教育の充実を推進し、生徒の道德性を高め、豊かな人間性を育成する。
- (10) 生徒の心情の変化に気を配り、SCや児童相談所、子ども家庭支援センター等の諸機関と連携し、自殺予防や不登校対策に努める。

7 各教科・領域での具体的方針

(1) 教育課程について

《年度目標》教師が授業力を磨き、学ぶ意欲を生徒に培わせ、資質・能力の向上を目指す。

(具体策) ①学びの充実を目指し、授業改善に全教師が意欲をもって取り組む。

②授業改善を小中合同で検討し、検証授業を行うことを通して、生徒の学力を伸ばす。

③授業の始めと終わりには、しっかりと挨拶をしてけじめをつけさせる。

④授業ごとに、清潔な学習環境を整えてから授業を行う。

⑤主体的、対話的で深い学びにつながる指導を行う。また、タブレット端末を活用した授業による情報活用能力を育成する。

⑥各教科で評価・評定の規準を明確にし、指導と評価の一体化を図る。

(2) 総合的な学習の時間・特別活動の指導について

《年度目標》総合的な学習の時間で思考力、判断力、表現力を高め、探求的な態度を育成する。特別活動においては、体験を通し人間性を身につけさせる。

(具体策) ①総合的な学習の時間、特別活動の充実に向けて、全教職員で取り組む。

②総合的な学習の時間では、自然体験的な活動、職業や進路に関する啓発的な活動を工夫し、人間形成の充実を図る。

③運動会、文化祭等の学校行事に積極的に取り組ませる。

④部活動にできるだけ加入させ、心身の健康、技術の伸長に努めさせる。

⑤小中一貫教育を生かした特別活動の推進を図る。

⑥各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくために教科等横断的な教育を推進していく。

(3) 生活指導について

《年度目標》あらゆる教育活動を通して、強い意志をもち規範意識の育成を図る。

(具体策) ①日々の服装、掃除、挨拶、時間厳守の徹底を図る。

②集会時、速やかに整列と静かに話を聞くよう指導する。

③教職員が一丸となって、速やかな生活指導を徹底する。(指導の一貫性)

④WEBQUの活用、面接を重視することで、生徒理解に徹する。

⑤生活指導スタンダードを、小中で共通指導する。

⑥不登校対策委員会を月2回実施し、不登校生徒が改善するように全教職員で取り組む。

⑦登校支援のために学習室を設置し、別室対応を行う。どこにも関わっていない不登校生徒を0にする。

(4) 進路指導について

《年度目標》生徒の発達段階に応じ、生徒が将来の生き方を考え、適切な進路を選択するための能力を育てる。最終学年においては卒業時まで進路を決定する。

(具体策) ①学級担任は、学級活動や個人面談を通して、早めに進路意識をもたせる。

②キャリア教育の充実を図るため、職場体験の内容を充実させ、自己の適性を探求し、将来、職業を通して、社会貢献をしようとする意識を培わせる。

③ 3 学年では、進路に関する的確な情報を提供する。

④ 小中一貫でキャリア教育の推進を図る。

(5) 保健指導・安全指導について

《年度目標》清掃活動を徹底させ、校内を清潔にし、学習環境を整備する。

(具体策) ① ゴミを散らかさない指導に努める。

② クラスの日直、清掃当番に責任をもたせる。

③ あらゆる教育活動で、ゴミ問題や環境保全の意識を高める。

④ 学校防災拠点構想に基づき、保護者（地域学校協働本部）との連携のもと生徒の防災ボランティア活動を推進する。

(6) 特別支援教育について

《年度目標》学校生活を過ごしやすくできるように支援する。

(具体策) ① 校内委員会を月に 2 回定期的に行う。

② 特別支援コーディネーターや発達障がい支援アドバイザーによる研修会を実施する。

③ 特別支援教室と連携し、情緒面で課題のある生徒の支援をする。

(7) 保護者、家庭、PTA、地域社会等との連携と開かれた学校づくりの推進

《年度目標》保護者理解・地域理解に基づいた関係づくり。

① 学校運営の指針を得るよう、学校運営協議会との連携を深める。

② 地域学校協働本部の活用を図る。

③ 学校行事の地域への開放を進める。

④ 運営委員会と学校との連携を強化する。

(8) 東蒲中生としての自覚

《年度目標》活躍の称賛と機会の設定

① 「いじめ撲滅運動」等、生徒会活動をさらに充実する。

② 地域ボランティア活動の充実を図る。

③ 各種コンクールへの応募を奨励する。

④ 全校朝会で賞状伝達を行い、栄光をたたえる。

⑤ 先輩から後輩へ良い伝統を確実に受け継ぎ、先輩が後輩の手本となるように指導する。

(9) 区民の信託に応えるために

① 文書による適切な事案決定を行う。

② 常に課題意識をもって、校務の工夫、指導改善を図る。

③ 校内予算についてはコスト意識をもって、適正化を図る。

④ 教育公務員として研究・修養に努め、サービスの厳正に努める。

⑤ 法令に基づいた適切な教育活動・生徒指導を行う。